

■ 摂津市の洪水時に対応した避難について

■ 避難の考え方

『自助・共助・公助による備え
→「オールせつ」の避難』

対象者	健康で元気な高齢者、ファミリー、若者などの市民	要介護度が高くないが移動に制限がある高齢者など	身体障害者や要介護度の高い高齢者など
避難行動	自力で避難し、地域内の助け合いにも協力する。	地域での助け合いによる支援を受け避難する。	自助・共助・公助の三助の連携により避難する。
避難先	地域内には確保できないため、広域避難により安全な場所を確保。	浸水しない安全な場所に広域避難。※	避難先は充実したケアが可能な拠点。

※浸水する地域内にある避難場所は、浸水後数日から数週間、浸水が継続し、避難生活に著しい支障がある

- ### ■ 摂津市の洪水に対応した避難の取組み
- #### (1) 広域避難に向けた意識づくり
- 水害リスクの説明
 - ・我が家、地域の想定浸水深、浸水継続時間を知る
 - ・「逃げる」意識の醸成
 - 避難における地域での助け合い（共助）の意識の醸成
 - ・おねがい会員・まかせて会員の活用
- #### (2) 「安全な場所への避難」に向けての仕組みづくり
- 縁故避難の提唱
 - ・市域内外の浸水の恐れのない場所へ、自動車や公共交通機関を利用した避難を提唱
 - 高台の整備
 - ・千里丘周辺など水害が発生しても浸水しない安全な場所での拠点を確保
 - ・復旧活動拠点の確保（河川防災ステーションの整備など）
 - 災害時要援護者の避難場所確保
 - ・充実したケアが可能な拠点を安威川の南北に確保
 - 広域避難場所の確保
- #### (3) 逃げ遅れた場合の命を守る行動
- 緊急避難場所の設備の充実、拡充
 - ・身近な緊急避難場所の整備、備蓄品の拡充
 - 民間協定の推進
 - ・民間事業所等との協定による地域内での新たな避難場所の確保
 - 身近な背の高い建物への避難
- #### (4) 浸水地域内の残留者を救済
- 浸水により孤立化した緊急避難場所等からの救済
 - ・ボートの確保
 - 排水能力の向上
 - ・浸水継続時間の短縮をめざした下水道整備、排水ポンプの確保

